

4. カリキュラム（履修科目と時間数）

社会福祉士一般養成施設（通信課程）のカリキュラム（履修科目と時間数）は法令で規定されており、具体的には下表のとおりとなります。

- 「テキスト履修」は、テキストによる家庭学習の時間を示しています。
- 「スクーリング履修」は、指定したスクーリング会場で行われる面接授業の時間を示しています。
- 「指定施設」において1年以上「相談援助業務」に従事した後、入校する方は、「相談援助実習」及び「相談援助実習指導」の履修を免除することができます。

科目名	テキスト履修	スクーリング履修	現場実習
人体の構造と機能及び疾病	90		
心理学理論と心理的支援	90		
社会理論と社会システム	90		
現代社会と福祉	180		
社会調査の基礎	90		
相談援助の基盤と専門職	180		
相談援助の理論と方法	360		
地域福祉の理論と方法	180		
福祉行財政と福祉計画	90		
福祉サービスの組織と経営	90		
社会保障	180		
高齢者に対する支援と介護保険制度	180		
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	90		
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	90		
低所得者に対する支援と生活保護制度	90		
保健医療サービス	90		
就労支援サービス	45		
権利擁護と成年後見制度	90		
更生保護制度	45		
相談援助演習	405	45	
相談援助実習指導	243	27	
相談援助実習			180
合計	2,988時間	72時間	180時間

5. 社会福祉士一般養成施設（通信課程）での学び

社会福祉士一般養成施設（通信課程）は、上記の所定のカリキュラムをすべて履修することにより、「社会福祉士国家試験」の受験資格を取得できる養成コース（養成講座）です。専門の研修を受けた教員、実践経験等が豊富な教員が各科目を担当しています。

受講する方の中には、仕事のため、自身のスキルアップのためだけでなく、生涯学習の一貫として学ばれる方も多く、多種多様な職種・立場の方々との出会いや学び合い、それによる相互作用や相乗効果も観られます。また、現場実習では、利用者理解や法制度・サービス理解、相談援助に関する理論や方法等の理解、地域等への理解が深まるだけでなく、自己覚知や職業的適性の理解も深められる等、相談援助の専門職としての基盤を醸成することができます。

- 社会福祉士一般養成施設は、受験対策を目的とした講座ではありません。専門的知識や技術を獲得・養成するための講座です。

6. 出願から資格取得までの流れ(ポイント)

